

募集案内

『みんなの写真展 第二弾!』のお知らせ

昨年、好評を頂いた「みんなの写真展」を今年も行うことになりました。高尾山で撮影したあなたのおきの写真をビジターセンターに展示しませんか？

◆応募条件◆

1. 撮影場所
 - ①高尾山・日影・小下沢・小仏城山・景信山・陣場山・南高尾山稜のいずれかで撮影したもの
 - ②ハイキングコース上で撮影したもの
(注意) 撮影のためにハイキングコースをはずれないでください
2. 撮影内容
風景や動植物をメインに撮影したもの
(注意) 高尾山で保護上重要とされている植物の場合は、展示できません
3. 写真の大きさ
L判以上、A4以下で、プリントされたもの
4. 写真を高尾ビジターセンター窓口まで持参できること

◆募集方法◆

募集期間中に、高尾ビジターセンター窓口までお持ち下さい。なお、持参して頂いた写真の返却はできません。また、展示の主旨と相違する内容の場合、展示できない場合もありますのでご了承下さい。

イベント報告 自然講座 2005年7月30日

『親子で体験! 夜の高尾山!』

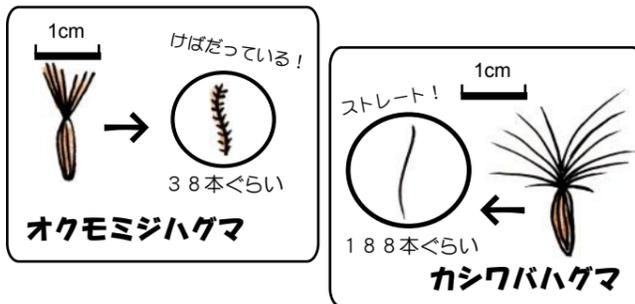


夕方からだんだんと日が沈み、暗くなるにつれて、普段はあまり使わない感覚が敏感になってきます。そんなことを体感しながら、日中活動する虫と夜に活動する虫の違いや、夜行性のムササビが日没後に巣穴から飛び立つ姿、陸生ホタルの幼虫の光などを観察しました。参加者の皆さんが、真っ暗な中をライトをつけずに歩いた時の感覚をふとした時に思い起こしてくれたらと思います。

高尾山こぼれ話 あなただ解説員から

←この部分、じっくり見たことありますか？

「オクモミジハグマ」と「カシワバハグマ」という植物はどちらも同じような綿毛をつけます。しかし綿毛を数えてみたところ…。



よく似ているけど本数は違い、じっくり見ると毛1本1本の様子も違いました。自分の目で実物を見る大切さを実感した瞬間でした。

高尾ビジターセンターのご案内

秋 季節展示 ー地下1階ー みたりのず
「鳥と寒のお宿しる寒鳥園」

2006年冬号
次号予告 2006年1月5日発行予定
混群についてートピックスー
2号路自然情報マップ
双眼鏡ー観察お助けグッズ⑤ー
遺伝子汚染ー環境問題⑤ー

編集後記

ニュースレターも試行錯誤で1年間発行することが出来ました。読者の方からいただくアドバイスを活かせるよう、5号からも頑張ります! M.O
※3号に掲載致しました次号予告と、秋号の内容が一部異なりましたこととお詫びいたします。

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」

2005年10月1日発行Vol.4
発行者
東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
電話 0426-64-7872 FAX 0426-62-9926
ホームページhttp://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/

購読の方法

80円切手と、封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

紅葉・ドングリだけじゃない! わたしたちも実どころ

秋になると、赤や黄色に紅葉したカエデの葉や、ドングリが大人気。どちらも秋の森を感じさせてくれるものですが、秋の高尾の魅力はそれだけではありません。色鮮やかな実や、香りのする実、タンポポの種を大きくしたような綿毛つきの種が、ほら、見つかりませんか？



今年、とても気になるのがイヌブナの実。春の満開の花から予想すると、今年は大豊作になりそうです!! (イヌブナはドングリの木の仲間と同じブナ科の木です。)

イヌブナの花 イヌブナの実

ちょっと登山情報

	日の出時刻	日没時刻	平均気温
10月1日	5:35	17:26	16.5℃
10月15日	5:47	17:06	
11月1日	6:02	16:47	10.9℃
11月15日	6:16	16:35	
12月1日	6:32	16:28	5.8℃
12月15日	6:43	16:29	

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。

10月は、夏に引き続きハチの被害が多い時期なので注意してください。11月は、紅葉狩りの登山客でにぎわいます。土日・祝祭日は大変混み合いますのでトイレは早めに行くようにしましょう。12月になると、日没時刻が早くなり、ケーブルカーの運行時刻も短縮されますので下山時刻の設定にご注意下さい。また、ライトを携帯するといざという時に役立ちます。

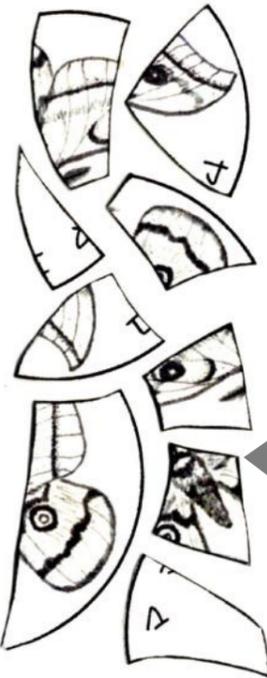
季刊 高尾ビジターセンターニュースレター のぶすま

2005年秋号 Vol. 4

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

1号路の
パズルクイズ!

下のパズルをハサミ
で切って右隣にある
の枠に当てはめ
てみよう。



夜、水銀灯の明かりに
さそわれて飛んできた
仲間を、カラスやフク
ロウがパクパクと食べ
ちゃうんだ。クスサン
やオオミズアオ達も食
べられているよ。

10・11・12月の ビジターセンター発

1号路自然情報

秋、木の葉が色づく季節。気の早い木は葉を落とし始めます。でも、枝先が淋しくなると、今まで隠れていたものが見えてきて、この季節ならではの出会いが楽しめます!

ムササビの家

境内の大きな木を見上げると、幹や太い枝にぽっかりと開いたうろ(洞)が見つかります。うろはムササビの巣穴に利用されることが多く、そうしたうろを望遠鏡などで見てみると、穴の周りに引っ掻いたような傷があるはず。日中も顔を出していることがあるので要チェック!



秋の花

オクモジハグマ
カシワバハグマ
キッコウハグマ
アズマヤマアザミ



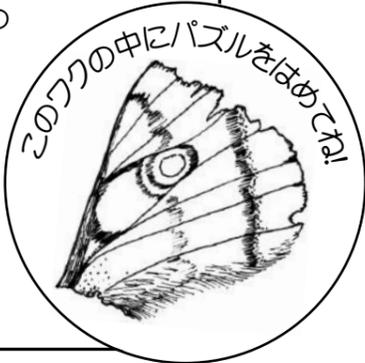
さあ、頼りはあなたの5感



1号路の
パズルクイズ!

はねのぬしはだれ?

ケーブルカー高尾山駅から薬王院までの道ぞいにある水銀灯のまわりに、バラバラになった何かのはねが落ちていることがあります。いったいこのはねは誰ののでしょうか。答えは左にあるパズルを組み立てると出てくる生き物だよ。

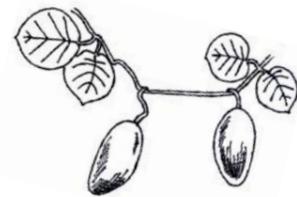


ネバネバの実

11月~12月頃、ケヤキの木の下に、半透明で円い黄色の実が落ちていることがあります。ケヤキや、ブナなどに寄生するヤドリギの実(果実)です。実をつぶすとネバネバ(粘液質)します。この果実を食べた鳥のフンには、ヤドリギの種とネバネバが残っていて、これが木にくっつくしくみになっています。落ちた実が拾えたらつぶしてみてください。ネバネバ具合が実感できますよ。



フワリ、フワリ



木にからんだツルをよく見ると、大きな楕円形の実がぶら下がっているのが見つかります。キジョランの実(袋果:たいか)です。今見られる実は、前の年に咲いた花のもので、実が熟すまでに2年かかります。12月頃実が割れて、綿毛(冠毛)を持った種子がフワフワと飛び出します。

遠い国からこんにちは!

この場所に来たら、立ち止まって耳をすませて下さい。チツ、チツという声が出たらカシラダカが潜んでいる証拠。シベリア方面からはるばる高尾山へ飛んで来ました。ここにはジツと鳴くアオジがいることもあります。聞き分けられるかな?



観察お助けグッズ #4

オリジナル葉っぱ図鑑

用意するもの
新聞紙、筆記具、B5~A4判の雑誌もしくはノート、自分のおしり、葉の検索ができる図鑑



参考になる図書
『落葉図鑑』文一総合出版
科別に線画で紹介
『検索図鑑樹木1・2』保育社
葉の特徴別に写真で紹介

作り方

- ①気になる木を観察。観察ポイントは、葉と枝のつき方、どこかに毛が生えているか、その他気付いたことをメモします。
- ②木の周りに落ちているきれいな葉を拾い、丁寧に新聞紙にはさみます。
- ③日付と場所を新聞紙の隅に記入。帰りの乗物の中で雑誌(ノート)に新聞紙をはさみ、その上に座ります。
- ④重しをして保管し、2週間後とりだしながら、図鑑で何の植物か調べます。実際に自分で調べて作った図鑑は、手間と時間をかけた分、記憶に残っていきますよ。

高尾山からのぞいてみよう環境問題④

森はどこへ?

キビタキは黄色と黒の模様がお洒落な小さな鳥。春から夏にかけ、高尾山の豊かな森で子育てをします。でもキビタキは高尾の森が豊かなだけでは生きられません。寒さが苦手なキビタキが、秋に渡っていく東南アジアでは、伐採で森が減り続けてきました。更に近年は、残された森が油ヤシの農園に変わりつつあり、鳥や動物だけでなく、元々森に住んでいた人達も住む場所をうばわれています。熱帯からの木材やヤシ油を使った製品は、日本でも大量に消費されてきました。ヤシ油はスナック菓子等の食品や石鹸などに使われますが、ヤシ油製の洗剤の中には、「地球にやさしい」製品として売られているものもあります。森林を守るためには、私達一人一人が、自分たちの暮らしと環境との関係を考えていくことが大切なのです。

